

令和6年度工学部改組に伴う入学者選抜試験の変更について（最終報）

令和5年9月1日

1. 工学部改組の概要

「地域の中核、世界の人材」という山梨大学キャッチフレーズのもと、工学部では「未来世代を思いやるエンジニアリング教育」を掲げ人材育成を行ってきました。近年の社会変化は著しく、工学部の人材育成が果たすべき役割も急速に変化しています。例えば、持続可能な開発目標「SDGs」、地方のポテンシャルを引き出し継続的な営みができる社会「地方創生」、IoT やビッグデータ、人工知能等をはじめとする技術革新による新たな社会「Society 5.0」の実現などに向けて、人材育成のポイントも変化・多様化しています。特に、カーボンニュートラルのためのエネルギー問題への取組やデジタル分野への人材輩出は、持続可能な社会を実現するうえでの最重要課題であり、その解決に向けた教育の強化が求められています。

このような背景から、新たな社会へ貢献できる工学系人材を育成するために、令和6年4月から、新たな工学部をスタートさせる（改組）こととなりました。主なポイントは、7学科から1学科（工学科）複数コースへの再編、クリーンエネルギー化学コースの新設、入学後に専門分野を決めることのできる総合工学卒の導入などであり、詳細については、「工学部改組概要（最終報）」をご覧ください。

2. 令和6年度入学者選抜試験（令和5年度実施）に係る教科・科目等の概要

(1) 入試方法

令和6年度入学者選抜試験から、現行の総合型選抜Ⅰ、総合型選抜Ⅱ、一般選抜（前期日程）、一般選抜（後期日程）、私費外国人留学生入試に加え、新たに「学校推薦型選抜Ⅰ」による募集を行うとともに、学校推薦型選抜Ⅰにおいて女性の志願者を対象とした「女子枠」を導入します。（次頁へ続く）

| 現在 | 改組後 (令和6年度から) | 大学入学共通 テスト利用の有無 | 【参考】選抜時期等(目安) | | |
|------------|------------------|--------------------|---------------|------------|------------|
| | | | 出願 | 試験 | 合格者 発表 |
| 総合型選抜Ⅰ | 総合型選抜Ⅰ | 利用しない | 10月 月上旬 | 10月 月下旬 | 11月 月上旬 |
| 総合型選抜Ⅱ | 総合型選抜Ⅱ | 利用する | 12月 月下旬 | — (※1) | 2月 月上旬 |
| | <u>学校推薦型選抜Ⅰ</u> | 利用しない | 11月 月上旬 | 11月 月下旬 | 12月 月中旬 |
| 一般選抜(前期日程) | 一般選抜(前期日程) | 利用する | 1月 月下旬 | 2/25 | 3月 月上旬 |
| 一般選抜(後期日程) | 一般選抜(後期日程) | 利用する | 1月 月下旬 | 3/12 | 3月 月下旬 |
| 私費外国人留学生入試 | 私費外国人留学生入試 | 利用しない | 12月 月下旬 | — (※2) | 2月 月上旬 |
| 3年次編入学試験 | 3年次編入学試験(※3) | 利用しない | 5月 月下旬 | 6月 月上旬 | 6月 月中旬 |

※1 個別学力検査等は実施しませんが、大学入学共通テストの受験が必要です。

※2 個別学力検査等は実施しませんが、独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験の成績とTOEFL又はTOEICの成績が必要です。

※3 工学部工学科として実施する3年次編入学試験は、令和8年度入試(令和7年度実施)からとなります。それ以前に実施する3年次編入学試験については、現在(改組前)の工学部各学科への編入となります。なお、令和8年度入試の試験内容等については、決まり次第、お知らせします。

(2) 募集コース及び募集人員(目安)

募集を行うコース等及び選抜区分毎の募集人員(目安)は、次のとおりです(3年次編入学試験を除く)。工学部全体の入学定員(365人)に変更はありません。

| 学科 | コース等 | 募集人員(目安) | | | | | | | 計 |
|-------------|----------------|------------|------------|----------|------|--------------|--------------|----------------|----|
| | | 総合型 選抜Ⅰ | 総合型 選抜Ⅱ | 学校推薦型選抜Ⅰ | | 一般選抜 (前期) | 一般選抜 (後期) | 私費外国人 留学生入試 | |
| | | | | 一般枠 | 女子枠 | | | | |
| 工 学 科 | クリーンエネルギー化学コース | 6 | 3 | 4 | 2 | 18 | 募集なし | 若干 | 33 |
| | 応用化学コース | 6 | 3 | 4 | 2 | 18 | | | 33 |
| | 土木環境工学コース | 3 | 3 | 8 | 2 | 30 | | | 46 |
| | コンピュータ理工学コース | 6 | 12 | 8 | 2 | 47 | | | 75 |
| | 機械工学コース | 3 | 3 | 8 | 2 | 32 | | | 48 |
| | メカトロニクスコース | 3 | 3 | 8 | 2 | 29 | | | 45 |
| | 電気電子工学コース | 3 | 3 | 8 | 2 | 29 | | | 45 |
| | 総合工学枠 | 募集なし | 募集なし | 募集なし | 募集なし | 10 | 30 | 募集なし | 40 |
| 計 | 30 | 30 | 48 | 14 | 213 | 30 | 若干 | 365 | |

(3) 教科・科目と選抜方法

大学入学共通テストを利用する全ての選抜（総合型選抜Ⅱ、一般選抜（前期日程、後期日程））において、新たに「生物が選抜可能」となります。なお、「生物」が選抜できるのは、あくまで大学入学共通テストの理科においてであり、一般選抜（前期日程）の個別学力検査の理科においては、「物理基礎・物理」又は「化学基礎・化学」から1科目群の選抜となります（「生物基礎・生物」の選抜はできません）。

上記のほか、選抜区分毎の概要や配点等は、次のとおりです。

【総合型選抜Ⅰ】

総合工学枠を除く全てのコースで募集を行います。入学者の選抜方法及び配点は次のとおりであり、「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の提出を求めます。

● 選抜方法

| 学科 | コース | 選抜方法 | | | | |
|-------------|----------------|---------------|-----|----|---------------------|-------|
| | | 大学入学 共通テスト | 小論文 | 実技 | 面接 (口頭試問を 含む) | その他 |
| 工 学 科 | グリーンエネルギー化学コース | — | — | — | ○(※1) | ○(※2) |
| | 応用化学コース | — | — | — | ○(※1) | ○(※2) |
| | 土木環境工学コース | — | — | — | ○(※1) | ○(※3) |
| | コンピュータ理工学コース | — | — | — | ○(※1) | ○(※3) |
| | 機械工学コース | — | — | — | ○(※1) | ○(※3) |
| | メカトロニクスコース | — | — | — | ○(※1) | ○(※3) |
| | 電気電子工学コース | — | — | — | ○(※1) | ○(※3) |

※1 目的意識、意欲、対話力を問う「一般面接」、並びに基礎学力・修学能力を確認する「教科に関する口頭試問」及び技術や技能、論理的思考力、表現力を問う「実技・演習に関する口頭試問」を課します。

※2 その他では、簡単な実験操作と化学実験に関する観察力・考察力・表現力を評価します。

※3 その他では、提示する資料に基づき、物理に関する観察力・考察力・表現力を評価します。

● 配点

| 学科 | コース | 提出書類・選抜方法 | | | | 計 |
|-------------|----------------|-----------|-------------------|---------------------|-----|-----|
| | | 調査書 | 多面的・総合的な評価のための申告書 | 面接 (口頭試問を 含む) | その他 | |
| 工 学 科 | グリーンエネルギー化学コース | 20 | 適否 (※1) | 50 (※2) | 30 | 100 |
| | 応用化学コース | | | | | |
| | 土木環境工学コース | | | | | |
| | コンピュータ理工学コース | | | | | |
| | 機械工学コース | | | | | |
| | メカトロニクスコース | | | | | |
| | 電気電子工学コース | | | | | |

※1 面接の資料として用いる場合があります。

※2 口頭試問の点数であり、一般面接については「適否」を判定します。

【総合型選抜Ⅱ】

総合工学枠を除く全てのコースで募集を行います。入学者の選抜方法及び配点は次のとおりであり、「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の提出を求めます。

● 選抜方法

| 学科 | コース | 選抜方法 | | | | |
|-------------|----------------|---------------|-----|----|----|-----|
| | | 大学入学 共通テスト | 小論文 | 実技 | 面接 | その他 |
| 工 学 科 | クリーンエネルギー化学コース | ○ | — | — | — | — |
| | 応用化学コース | ○ | — | — | — | — |
| | 土木環境工学コース | ○ | — | — | — | — |
| | コンピュータ理工学コース | ○ | — | — | — | — |
| | 機械工学コース | ○ | — | — | — | — |
| | メカトロニクスコース | ○ | — | — | — | — |
| | 電気電子工学コース | ○ | — | — | — | — |

● 配点

| 学科 | コース | 提出書類・選抜方法 | | | 計 |
|-------------|----------------|-----------|-------------------|---------------|-----|
| | | 調査書 | 多面的・総合的な評価のための申告書 | 大学入学 共通テスト | |
| 工 学 科 | クリーンエネルギー化学コース | ※1 | 適否 | 600 (※2) | 600 |
| | 応用化学コース | | | | |
| | 土木環境工学コース | | | | |
| | コンピュータ理工学コース | | | | |
| | 機械工学コース | | | | |
| | メカトロニクスコース | | | | |
| | 電気電子工学コース | | | | |

※1 内容を確認します。

※2 詳細については次頁のとおりです。

なお、大学入学共通テストについては、志望するコース毎に、次に示す型に合致する科目を受験する必要があります。ただし、複数の型を設定しているコースの場合、志願者が型を選択する必要はなく、受験した科目により該当する型の選抜対象となります。また、大学入学共通テストの得点には、合格最低基準を下記のとおり設けます。

■ 大学入学共通テスト

| 学科 | コース | 型 | 科目名等 | 配点 | |
|------------------|----------------------|-----------------|---------------------------------------|-----|-----|
| | | | | 内訳 | 計 |
| 工 学 科 | クリーンエネルギー化学コース ※1 | 理科重視型 | 化 必須 | 300 | 600 |
| | 応用化学コース ※1 | | 数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B、物、生、英の 5科目のうちから2科目(※3) | 300 | |
| | 土木環境工学コース ※1 | 理科重視型 | 物、化、生の3科目のうちから2科目 | 600 | 600 |
| | コンピュータ理工学コース ※2 | 数学重視型 | 数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B 必須 | 600 | 600 |
| | | 英数理 バランス型 | 数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B 必須 | 200 | |
| | | | 英 必須 | 200 | |
| | 機械工学コース ※2 | 英数理 バランス型 | 物、化、生の3科目のうちから2科目 | 200 | 600 |
| | | | 数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B 必須 | 200 | |
| | | | 英 必須 | 200 | |
| | | | 物 必須 | 100 | |
| メカトロニクスコース ※2 | 理科重視型 | 化、生の2科目のうちから1科目 | 100 | 600 | |
| | | 物 必須 | 300 | | |
| 電気電子工学コース ※1 | 理科重視型 | 化、生の2科目のうちから1科目 | 300 | 600 | |
| | | 数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B 必須 | 600 | | |

※1 下線の科目の得点が大学入試センターが公表する平均点未満の場合は不合格になります。(下線が2科目の場合は、両科目ともその科目の平均点未満の場合)

※2 判定に用いる大学入学共通テストの得点の本学科の検査の配点による合計が、大学入試センターが公表するそれぞれの科目の平均点を同様に合計した点の1.1倍未満の場合は不合格になります。

※3 数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B、物、生、英の5科目から、受験した科目のうち得点(得点率)の高い2科目を大学側で採用します(志願者の選択は要しません)。

【学校推薦型選抜Ⅰ】

総合工学枠を除く全てのコースで募集を行います。入学者の選抜方法及び配点は次のとおりであり、「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」、「志望理由書（※）」の提出を求めます。なお、女性が出願する場合は、「一般枠」又は「女子枠」から希望する枠を選択して出願（併願可）することができます。

※ 志望理由書とは、「女子枠」への出願（「一般枠」との併願を含む。）者のみ提出を求めるものであり、男女ともに輝ける社会を創造するために工学系出身者が貢献すべきことや、ダイバーシティの視点で大学で学ぶべきこと、身に付けたいことなどに関する考えについて記載を求めます。

● 選抜方法

| 学科 | コース | 選抜方法 | | | | |
|-----|----------------|---------------|-----|----|----|-----|
| | | 大学入学 共通テスト | 小論文 | 実技 | 面接 | その他 |
| 工学科 | グリーンエネルギー化学コース | － | ○ | － | ○ | － |
| | 応用化学コース | － | ○ | － | ○ | － |
| | 土木環境工学コース | － | ○ | － | ○ | － |
| | コンピュータ理工学コース | － | ○ | － | ○ | － |
| | 機械工学コース | － | ○ | － | ○ | － |
| | メカトロニクスコース | － | ○ | － | ○ | － |
| | 電気電子工学コース | － | ○ | － | ○ | － |

● 配点

| 学科 | コース | 提出書類・選抜方法 | | | | | | 計 |
|-----|----------------|-----------|-------------------------------|------------|------------|-----|-------------|-----|
| | | 調査書 | 多面的・ 総合的な 評価のため の申告書 | 学校長 推薦書 | 志望 理由書 | 小論文 | 面接 | |
| 工学科 | グリーンエネルギー化学コース | 50 | 適否 （※1） | ※2 | 適否 （※1） | 200 | 100 （※3） | 350 |
| | 応用化学コース | | | | | | | |
| | 土木環境工学コース | | | | | | | |
| | コンピュータ理工学コース | | | | | | | |
| | 機械工学コース | | | | | | | |
| | メカトロニクスコース | | | | | | | |
| | 電気電子工学コース | | | | | | | |

※1 面接の資料として用いる場合があります。

※2 学校長からの推薦であることを確認します。

※3 学習意欲、知的好奇心、理解力、コミュニケーション能力等を評価します。

【一般選抜（前期日程）】

全てのコース及び総合工学枠で募集を行います。入学者の選抜にあたっては、大学入学共通テストと個別学力検査の成績を利用し、「調査書」の提出を求めます。なお、大学入学共通テストと個別学力検査で課す教科・科目及び配点は、次のとおりです。

■ 大学入学共通テスト

| 学科 | コース等 | 教科 | 科目名等 | 配点 | |
|-----|---|----------|---|-----|-----|
| | | | | 内訳 | 計 |
| 工学科 | クリーンエネルギー化学コース 応用化学コース 土木環境工学コース コンピュータ理工学コース 機械工学コース メカトロニクスコース 電気電子工学コース 総合工学枠 | 国語 | 国 必須 | 200 | 900 |
| | | 地歴 公民 | 世 A、世 B、日 A、日 B、地理 A、地理 B、 現社、倫、政経、倫・政経の 10 科目の うちから 1 科目選択 | 100 | |
| | | 数学 | 数Ⅰ・数 A、数Ⅱ・数 B 必須 | 200 | |
| | | 理科 | 物、化、生の 3 科目のうちから 2 科目 選択 | 200 | |
| | | 外国語 | 英、独、仏、中、韓の 5 科目のうちから 1 科目選択 | 200 | |

■ 個別学力検査

| 学科 | コース等 | 教科 | 科目名等 | 配点 | |
|-----|------------------------------------|----|---|-----|-----|
| | | | | 内訳 | 計 |
| 工学科 | クリーンエネルギー化学コース 応用化学コース | 数学 | 数Ⅰ・数 A・数Ⅱ・数 B・数Ⅲ | 350 | 600 |
| | | 理科 | 化基・化 | 250 | |
| | 土木環境工学コース コンピュータ理工学コース 総合工学枠 | 数学 | 数Ⅰ・数 A・数Ⅱ・数 B・数Ⅲ | 350 | 600 |
| | | 理科 | 物基・物、化基・化の 2 つの科目群の うちから 1 つ選択（出願時に選択） | 250 | |
| | 機械工学コース メカトロニクスコース 電気電子工学コース | 数学 | 数Ⅰ・数 A・数Ⅱ・数 B・数Ⅲ | 350 | 600 |
| | | 理科 | 物基・物 | 250 | |

また、入学者の選抜は、これまでの学科毎から、工学科全体での選抜（一括入試）に変更します。具体的には、個別学力検査「理科」の科目間の得点差が一定以上の場合に得点調整を行ったうえで、総得点の高い者から順に、志望コース等の順位に基づき合格コース等を決定します（志望コース等は第 3 志望まで記入可能です。第 1 志望のコース等の募集人員に達している場合は、第 2 志望のコース等で合格となります。以降、志望下位のコース等も同様です）。ただし、志望する全てのコース等が募集人員に達している場合は、不合格となります。総合工学枠については、総合工学枠を除く工学科コース全体の合格最低点未満の場合は、不合格となります。

【一般選抜（後期日程）】

総合工学枠のみの募集となります。入学者の選抜にあたっては、大学入学共通テストと個別学力検査（面接）の成績を利用し、「調査書」の提出を求めます。なお、大学入学共通テストで課す教科・科目及び配点並びに個別学力検査（面接）の配点は、次のとおりです。

■ 大学入学共通テスト

| 学科 | コース等 | 教科 | 科目名等 | 配点 | |
|-------------|-------|----------|---|-----|-------|
| | | | | 内訳 | 計 |
| 工 学 科 | 総合工学枠 | 国語 | 国 必須 | 250 | 1,000 |
| | | 地歴 公民 | 世 A、世 B、日 A、日 B、地理 A、地理 B、 現社、倫、政経、倫・政経の 10 科目の うちから 1 科目選択 | 100 | |
| | | 数学 | 数Ⅰ・数 A、数Ⅱ・数 B 必須 | 300 | |
| | | 理科 | 物、化、生の 3 科目のうちから 2 科目 選択 | 200 | |
| | | 外国語 | 英、独、仏、中、韓の 5 科目のうちから 1 科目選択 | 150 | |

■ 個別学力検査（面接）

| 学科 | コース等 | 科目名等 | 配点 |
|-------------|-------|------|----|
| 工 学 科 | 総合工学枠 | 面接 | 適否 |

【私費外国人留学生入試】

総合工学枠を除く全てのコースで募集を行います。入学者の選抜にあたっては、独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験の成績と TOEFL 又は TOEIC の成績を利用し、「卒業（修了）（見込）証明書及び成績証明書」、「日本留学試験受験票（写し）」、「TOEFL 又は TOEIC の成績証明書（写し）」、「履歴書」、「住民票」の提出を求めます。なお、日本留学試験の利用科目は、次のとおりです。

■ 日本留学試験

| 学科 | コース | 利用科目 | 出題言語 |
|-------------|------------------------------------|--|------|
| 工 学 科 | 列-ソネ初時-化学コース 応用化学コース 機械工学コース | ①日本語 ②理科（物理・化学） ③数学（コース 2） | 日本語 |
| | 土木環境工学コース コンピュータ理工学コース | ①日本語 ②理科（物理・化学・生物から 2 科目選択） ③数学（コース 2） | |
| | メカトロニクスコース 電気電子工学コース | ①日本語 ②理科（物理必須、化学・生物から 1 科目選択、 合計 2 科目） ③数学（コース 2） | |

以上

<入試全般についての問い合わせ先>
山梨大学教学支援部入試課 TEL：055-220-8046
<工学部改組についての問い合わせ先>
山梨大学工学域支援課 TEL：055-220-8416